

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	巨大膀胱腫瘍に対する TURBT 術前 TAE の有効性の検討 倫理審査受付番号：4616
研究責任者氏名	山本新吾
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2024 年 1 月 29 日 ~ 2025 年 03 月 31 日
研究の対象	巨大膀胱腫瘍に対し経尿道的膀胱腫瘍切除術（TURBT）を行った患者さんを研究対象とします。
	疾患名：膀胱癌 / 診療科名等：泌尿器科
	受診日：西暦 2013 年 1 月 1 日 ~ 2023 年 12 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の種類	試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 アンケート <input checked="" type="checkbox"/> その他（画像データ）
	取得の方法： <input checked="" type="checkbox"/> 診療の過程で取得 その他（ ）
研究目的・意義	<p>巨大な膀胱腫瘍に対する経尿道的膀胱腫瘍切除術（Transurethral Resection of Bladder Tumor：TURBT）の際には出血コントロールに難渋することが多いです。出血コントロールが難渋している状態では安全で確かな手術を施行できない可能性があります。当院では2018年度より腫瘍の大きさが30mmを超える巨大な膀胱腫瘍に対しTURBTの直前に経カテーテル的動脈塞栓術（Transcatheter Arterial Embolization：TAE）を施行しています。本研究では2018年以前の巨大膀胱腫瘍の際のTURBTと比較し、術前TAEの効果で術中の出血量が減少し、手術時間が短縮するかを検討します。比較検討をすることで、TAEの有効性を明らかにします。そのことで今後、巨大な膀胱腫瘍に対し経尿道的手術をされる患者さんの有効で安全な治療法選択の検討を行うことが本研究の意義です。</p>

<p>研究の方法</p>	<p>対象患者さんは 2013 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までに当科にて 30mm を超える膀胱腫瘍に対し経尿道的膀胱腫瘍切除術を受けた 37 名の患者さんです。当院では 2018 年から巨大膀胱腫瘍に対し TURBT 前に TAE を施行しています。37 名のうち 2018 年以降の TAE を施行した 13 名と 2018 年以前の TAE を施行しなかった 24 名の患者さんを 2 つの集団に分けます。それぞれの集団に対し、患者さんの背景、MRI の画像データ、膀胱腫瘍のサイズ、手術前後での貧血の程度、手術時間、手術合併症、術後灌流期間、バルン抜去時期、入院期間、血液生化学検査データおよび尿検査データを比較検討します。対象患者さんのカルテから治療成績の情報を収集します。</p>
<p>個人情報の取扱い</p>	<p>収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
<p>本研究に関する連絡先</p>	<p>診療科名等：泌尿器科 担当者氏名：山田 祐介 [電話]（平日 8 時 30 分～16 時 45 分）0798 - 45 - 6366 （上記時間以外）0798 - 45 - 6111</p>